

本部名：三松中学校区学校支援地域本部

連絡先：小林市教育委員会社会教育課
 電話：0984-22-7912
 FAX：0984-23-9700

1 実施状況

対象学校	小林市立三松中学校、三松小学校
活動分野	学習支援活動・環境整備・登下校の安全指導・学校行事
○地域コーディネーター（ 4 ）人 ○ボランティア登録数（ 76 ）人	

2 年間の取組

月	下学年	上学年	中学校
4	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ（月1・2回） ・登下校の見守り（年間） ・図書館整備（年間） 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ（月1・2回） ・登下校の見守り（年間） ・図書館整備（年間） 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ（月1回程度） ・登下校の見守り（年間）
5	<ul style="list-style-type: none"> ・理科教材（モンシロチョウの卵）の提供 		<ul style="list-style-type: none"> ・社会人の声を聞く会（総合的な学習の時間における講話）
6	<ul style="list-style-type: none"> ・町探検 ・図工教材の提供（竹） 	<ul style="list-style-type: none"> ・プール清掃 	
7	<ul style="list-style-type: none"> ・参観日の幼児保育 	<ul style="list-style-type: none"> ・参観日の幼児保育 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業中のサマースクールにおける個別指導
8			<ul style="list-style-type: none"> ・運動場の排水工事（おやじ学級中心）
9	<ul style="list-style-type: none"> ・秋季大運動会予行練習における救護の補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・秋季大運動会予行練習における救護の補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育大会における救護の補助
10	<ul style="list-style-type: none"> ・秋季大運動会における駐車場整備や救護の補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・秋季大運動会における駐車場整備や救護の補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間における岩戸神楽の指導
11		<ul style="list-style-type: none"> ・秋祭りにおける「三松っ子ソーランの指導」 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間における職場紹介等
12	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科における三松地区史跡巡りの説明 ・持久走大会における救護の補助 ・地域団体の校内清掃活動ボランティア 	<ul style="list-style-type: none"> ・持久走大会における救護の補助 ・地域団体の校内清掃活動ボランティア 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季休業中のウィンタースクールにおける個別指導 ・駅伝ロードレース大会における観察
12	<ul style="list-style-type: none"> ・こすもす科における地域の方との交流会 	<ul style="list-style-type: none"> ・こすもす科における地域の方との交流会 	<ul style="list-style-type: none"> ・入試に向けての面接・マナー指導 ・家庭科における調理実習指導
3			

3 特色のある取組の紹介

① 「ぐんぐんタイムにおける学習支援」



【ここがイチオシ・本部自慢！】

・ 民生委員の方々に丸付けをしてもらい、学級担任は個別指導が充実。

○ 活動内容

- ・ 本校では、基礎的基本的な学習内容を定着させるために全校一斉で国語や算数の練習問題を解く時間（ぐんぐんタイム）を設定している。その時間に低学年を中心に、民生委員の方々に各学級に一人ずつ入ってもらい、丸付けを手伝ってもらった。その際、民生委員の方々は丸付けのみを手伝ってもらい、指導は学級担任が行うことにした。



【民生委員の方に丸付けをしてもらう子どもたち】

○ 事業を実施して（参加者等の声）

- ・ 教師一人では、とても手が回らないところに入って、丸付けをしてもらうことにより、本来の目的である個別指導を充実することができ、大変助かった。また、地域の方にほめてもらうと、子どもたちが大変喜び、意欲を高めていた。（教職員の声）
- ・ 意欲的に取り組む子どもと触れ合って元気をもらい、とっても楽しかった。また、少しでも学校の力になれたことがうれしい。（ボランティアの方の声）

② 「1年家庭科調理実習（郷土料理）における指導支援」



【ここがイチオシ・本部自慢！】

・ 町地区婦人会の方々に丁寧に教えてもらいながら、楽しく郷土料理。

○ 活動内容

- ・ 1年生の調理実習（郷土料理）において、町地区婦人会の方々を中心に6名の方に指導支援をしてもらった。各グループに1名ずつついてもらったため、丁寧に教えてもらった。生徒は楽しく活動できました。
- ・ この地域で昔から食べられている「ふくれがし」と「いもだんご」を作った。素朴な手作りのおやつのよさを生徒は感じとっていた。



【婦人会の方に料理を習う生徒】

○ 事業を実施して（参加者等の声）

- ・ ふれあいを通して、生徒は地域の方のすごさや温かさ、自分とのつながりを知り、身近な存在として感じるようになっていたようだ。（教職員の声）
- ・ 生徒が一生懸命話を聞いて料理を作ろうとするのでとってもうれしくなった。大したことではないが、学校や子どもたちのためになれてよかった。（ボランティアの声）

4 次年度へ向けて

- 各種のボランティアをグループ化し、代表者を決めて、組織的に取り組めるように工夫していく。
- 学校にとっても地域の方々にとっても有意義なボランティアの内容を検討する。